

この資料では、ご自身で使いやすくカスタマイズしたレイアウトを保存・復旧させる方法と、DealBook360 の動作が重くなった時に、快適な状態に戻す方法をご説明しています。

「DealBook360 を快適にご利用いただくために（「Dbfx2」ファイル削除の方法）」

を試みる前には、必ず

「DealBook360 で保存したレイアウトのエクスポート・インポート」

を参照の上、それまでのレイアウトを保存してから行ってください。

DealBook360 ではレイアウトを PC に保存し、データ損傷時にチャートデータを復活させたり、メモリー・スティック等に保存し、他の PC でレイアウトを読み込むことや、メール添付で遠くの友人に自分で使用しているチャート・インディケーターの設定やレイアウトを送ることができます。

ここでは、レイアウトのエクスポート(転出)・インポート(転入)の方法を説明いたします。

ファイルの「エクスポート」

「ファイル」→「レイアウト」→「設定」 レイアウト設定の画面が立ち上がります。

現在、保存して利用しているレイアウトが列挙され、「エクスポート」したいレイアウトをクリック・指定します。(ここでは「レイアウトアドバンス」を選択してみます。) そうすると、「名称」の欄に「レイアウトアドバンス」が記載され、確認をすることができます。

「エクスポート」→「エクスポートレイアウト」の画面が立ち上がります。どこに保存するのか? 「デスクトップ」、または、「ドキュメント」が多いようです。ここでは「デスクトップ」に選び、

ファイル名「任意の名前を付け、ここでは」→「保存」します。これで終了です。
確認→ デスクトップに右の様に、「XML」ファイルが作成されますので、確認して下さい。



ファイルの「インポート」

①「ファイル」→「レイアウト」→「設定」 レイアウト設定の画面が立ち上がります。

②「インポート」→「レイアウトのインポート」画面が立ち上がり、ファイルの場所→「保存している場所、例えばデスクトップ」を指定し、名前→ファイル名を選択し、「開く」→「レイアウト名の入力」の場面が立ち上がります。

③名前の欄→ 任意の名前を付け→「OK」、「レイアウト設定」の画面で、名前の欄に付けた名前のレイアウト名が記載されます。「任意の名前」をマウスの左クリックでアクティブに、名前の欄で同じ名前が選択されているか確認し、「ロード」で、インポートされたレイアウトが表示されます。これで終了です。

スクリーンショットは DealBook360 の操作画面を示しています。上部にはメニューバーとツールバーがあります。中央には「レイアウト設定」ウィンドウが開かれ、現在のレイアウトとして「レイアウト初心者」が選択されています。右側には「エクスポート」ボタンが強調されています。下部には「エクスポートレイアウト」ウィンドウが開かれ、保存先として「デスクトップ」が選択されています。また、「インポートレイアウト」ウィンドウも開かれ、ファイルの選択が行われています。右下には「レイアウト設定」ウィンドウの別の表示があり、ここでは「レイアウトアドバンス」が選択されています。画面の下部には為替レート表が表示されています。

通貨ペア	現在のレート	前日のレート	変動
EUR/USD	1.41760	1.41778	-0.00018
GBP/CHF	1.38346	1.38414	-0.00068
GBP/JPY	122.015	122.059	-0.044
GBP/USD	1.60858	1.60891	-0.00033
NZD/USD	0.82292	0.82318	-0.00026
USD/CHF	0.86004	0.86034	-0.00030
USD/JPY	75.847	75.867	-0.020

DealBook360 の最新バージョンは今までと異なり、より CPU の負荷が減り、ファイルサイズが大きくなっても、動きが鈍くなることなく、今までのバージョンと比較して大幅に改善されております。

しかしながら、「長時間に渡り使用している」、「多数のチャート・インディケータを起動させている」、「レイアウト保存を頻繁に繰り返す」等の操作で、ファイルサイズが大きくなり、動作が遅くなることもあります。

そのような場合にも、DealBook360 を快適にご利用いただくための方法を以下ご案内いたします。「最新バージョン 2.38.56.10.2」

DealBook360 の取引画面

(この操作をすると、今まで使用・作成し保存していたレイアウトが全て無くなり、初期化され初期の設定画面にもどります。以前使用していたレイアウトを再読み込みしますと、元の大きなファイルサイズを使用することになり、効果はありません。保存する場合には、新しくレイアウトを作成し、ファイルサイズが小さい段階で、レイアウトを保存して、利用して下さい。操作説明は前ページの「レイアウトのエクスポート・インポート」を参照)

「ファイル」→「レイアウト」→「設定」 レイアウト設定の画面が立ち上がります。

「全レイアウト保存」→「バックアップ設定」の画面が立ち上がります。

「Dbfx2」のファイルの上で、「マウスを右クリック」し、「削除」→ ファイル削除の画面で、「はい」

「バックアップ設定」の画面で、「キャンセル」で閉じ、

「レイアウト設定」の画面を、「閉じる」で終了してください。

最後に、Dealbook360 の「確認」の画面が立ち上がり、「いいえ」でクローズしてください。これで終了です。

DealBook360 を「終了」し、再度立ち上げてご利用下さい。

